



# 学校法人 滋慶文化学園 福岡デザイン&テクノロジー専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【2019年5月24日実施】

2018年度自己点検自己評価(2018年4月1日～2019年3月31日)による

学校関係者評価委員氏名【 】

大項目	点検・評価項目	自己評価 適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1	点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価 適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1	学校関係者評価委員よりの御意見
4 教育成果	<p>4-19 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか</p> <p>4-20 資格取得率の向上が図られているか</p> <p>4-21 退学率の低減が図られているか</p> <p>4-22 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか</p>	3	<p>【就職率】 就職率(就職希望者)100%を学修成果の最終目標に学校運営を行っており、3月末現在の就職率は97.2%(昨年同月:97.7%)でした。就職希望の未内定者については、キャリアセンターサポートを受けながら就職活動を継続的にを行い、5月24日の段階で残り1名となっている。早期に内定を獲得している学生は就職活動解禁当初から活動していた学生である。また、合同企業説明会(年2回)や、単独企業説明会を定期的に行うことで、多くのチャンスを提供し就職内定に結びつけている。</p> <p>【資格・免許の取得率】 クリエイティブは、業界が資格に対してあまり重要視していないため、学校でもそのような業界に合わせた授業カリキュラムを組んでいる。しかしながら2018年度に開設したIT系専攻に関しては資格取得も目標と置いており対策授業を行っているが、初年度ということもあり資格取得には至っていない。</p> <p>【退学率低減への取り組み】 毎年、入学目標と退学者目標を設定し、年間計画の元、目標の達成度合いを確認しつつ管理しているため、各年度の数字は明確になっている。中途退学防止のための会議を定期開催しており、そこで不安のある学生の情報を教職員で共有し連携して対策を行っている。また、その記録は保存されている。心理面では、外部カウンセラーによる相談室を用意している。学習面は特別補講等を行う体制を作っている。</p> <p>【卒業生の社会的評価】 卒業生の社会的評価や活躍は、教育成果そのものであり、教育成果は目標達成の努力の結果である。また、卒業生実績に関しては積極的に公開することにより学生のモチベーションアップの向上につなげている。</p>	<p>【就職率】 全国のクリエイティブ系企業を学内に招いて、FCAの学生だけを対象に、面接・面談まで学内で開催する合同企業説明会(年2回計97社)や単独企業説明会(58社)を実施した。またそのほかにも会社見学会を実施。今後来校企業数200社を目指して取り組むことで、さらなる就職支援を目指していく。就職希望者の就職率は毎年100%を達成しており、専門職就職はそのうち60%。夏休みを境に専門職就職から、一般職就職へ切り替えていく学生が出てくるため、その学生達をいかに専門職就職へ導いていくかが、専門職就職の割合を向上させていく鍵となる。専門職就職の割合を向上させるため、企業説明会、企業と連携してのインターンシップや、会社見学会を実施、それを契機に受験を希望する学生は数多い。</p> <p>【資格・免許の取得率】 学内検定資格ではあるが、社会で求められるコミュニケーション力を向上させるために、「JESCC認定コミュニケーションスキルアップ検定」試験とその対策授業を実施している。資格は業務に必要ではなくても、就職に有利になったりするため、業界に応じた資格を取得できるカリキュラムを今後さらに考慮していく。</p> <p>【退学率低減への取り組み】 2018年度の退学率の結果として、全体の退学率が6.6%(2017年度:8.1%)の退学者を出してしまった。要因は様々だが、学習意欲を減退して退学してしまう学生が毎年数名出てしまうが、2018年度の特徴としてそもそも職業意識がないまま入学して周りの温度差についていけずに退学する学生が多かった。早期発見と防止対策のための取り組みのシステムフローを構築し実施していく。</p> <p>【卒業生の社会的評価】 卒業生は様々な分野で活躍している。世の人々の暮らしや生活を豊かに楽しく笑顔にすることができるのがクリエイティブ業界の役割ともいえる。表に出ることはあまりないが、行っている仕事の素晴らしさは社会に貢献し評価されている。</p>	4	<p>・就職率100%は本当に素晴らしいことだと思います。更に、難しいかもしれませんが、卒業生の早期離職率0%にも手だがとれると更に素晴らしいことではないでしょうか。</p> <p>・専門職就職の割合は60%のことですが、入社後の追跡調査はあるのでしょうか。特記事項の卒業生の社会的評価が良いのはわかりますが、表現が抽象的です。</p> <p>・退学者の早期発見と防止対策のためのシステムフォローを構築し、実践してほしい。</p> <p>・就職率は高い水準をキープしていますが、どの業界もミスマッチによる早期退職者が少なくないのが現状です。チャンスを多く提供することの次の段階に突入しているのではないかと。</p> <p>・業界としては、やる気を無くし退学希望の学生がいてもそこに力を注ぐより、やる気のある子を伸ばしてもらおう方が良いと思う。ただ学校運営的には退学者は少ない方が良くと思うので、少人数クラスを作ったのは良策だと思います。</p>

# 学校法人 滋慶文化学園 福岡デザイン&テクノロジー専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【2019年5月24日実施】

2018年度自己点検自己評価(2018年4月1日～2019年3月31日)による

学校関係者評価委員氏名【 】

大項目	点検・評価項目	自己評価	点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1			適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1	
5 学生支援	5-23 就職に関する体制は整備されているか	4	【就職等進路】 専門分野での就職を第一に考え、就職の専門部署であるキャリアセンターを設け、専門スタッフが個別指導から就職イベント開催まであらゆる就職支援を行っている。また、インターネットによる求人アクセスや情報のメール送信、就職指導ノートの作成まで、情報、ノウハウ体制の確立を行っている。	【就職等進路】 企業を校内へ招聘する「合同企業説明会」「単独企業説明会」や、直接会社を訪問する「会社見学会」等の就職イベントを開催。 また、業界研修指導まで、学生の為のあらゆる支援として、キャリアセンターが独自の活動を行っている。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との連携は良くできていると思う。</li> <li>・保護者の信頼を得るには、「知ってもらうこと」が何より重要だと思います。なかなか情報が伝わらないこともあるかと思いますが、メール配信等も有効かと考えます。</li> <li>・卒業生からの情報収集とそれを活かした学生への支援を充実してほしい。</li> <li>・担任の先生と密に接することで、保護者の立場からすると子どもの様子をする上で安心できる。卒業生の声を聞くことは、学生のうちに身につけておくことなど具体的に知ることができ良いと思う。</li> </ul>
	5-24 学生相談に関する体制は整備されているか		【学生相談】 学生の相談については、基本的には担任が行うが、担任にも相談できないと考える悩みはSSC(スチューデント・サービス・センター)という部署を設け、その解決にあたっている。留学生に対しては、担当を設け、在籍管理や生活指導を行っている。	【学生相談】 SSCIは、2012年度から滋慶学園福岡8校で統一で運営し、滋慶トータルサポートセンター福岡として運営を行っている。ここは専用の場所を学校とは別の場所に設け、相談しやすい環境を整えている。また自習スペースもここに設けて、学校に來れないような学生が、ここで学習することが出来る環境を整えている。また法にのっとり、必要であれば合理的配慮も行っている。		
	5-25 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか		【経済支援】 日本学生支援機構の奨学金のほか、学園グループ独自の奨学金として、「滋慶奨学金」を用意している、また「学費サポートプランのご案内」の冊子を作成すると共に、分納や延納などすべての経済的支援ができるように努めると同時にデータの管理もコンピュータ管理できている。	【経済支援】 日本学生支援機構の奨学金紹介のみならず、学園としての滋慶奨学金を用意している。また、災害支援策も行っており、熊本震災の被災者に関しては学費減免措置を実施している。		
	5-26 学生の健康管理を担う組織体制はあるか		【健康管理】 毎年実施している健康診断の他に、健康面をサポートする目的で学校グループで慶生会クリニックという歯科、内科の2診療科目のクリニックを運営している。また、精神面を支える目的でSSC(スチューデントサービスセンター)を設置し、カウンセラーが学生対応を行っている。	【健康管理】 慶生会クリニックは、学生であれば診療料は、学生の健康管理費から負担されるため、何度でも安心して受診することができる。		
	5-27 課外活動に対する支援体制は整備されているか		【課外活動】 福岡の姉妹校合同でクラブ活動に取り組んでおり、予算管理から引率や大会への参加や年間の成績管理などクラブ活動担当者により行われている。	【課外活動】 姉妹校連携クラブ活動だけでなく、学生発案による同好会も発足しており、活発に活動している同好会も多くある。		
	5-28 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか		【生活環境支援】 グループ企業のジケイスペース㈱により、専用寮を運営・管理しており、学生指導をはじめ、利用状況や充足数などの情報も明確になっている。	【生活環境支援】 学生寮は安心安全面では一番の選択価値のある生活サポートであるが、学生及び保護者から費用が高額であるとの意見が多く、近年では全室埋まらない寮がある。設備やサポート等、費用以上の価値をもっと伝えていく。また留学生を対象にした日本語授業を実施している。		
	5-29 保護者と適切に連携しているか		【保護者との連携】 保護者から大切なお子様を預かって育てているということをお忘れず意識し、保護者への連絡と保護者との連携が重要である。本校では、4つの信頼というコンセプトを掲げているが、「学生・保護者の信頼」として、保護者の信頼を得ることもその1つであり、そのためには適切な連携をとることが重要である。	【保護者との連携】 担任は日頃から学生だけではなく、保護者とも連絡をとるように心がけている。また、保護者会、三者面談等も実施し、常に保護者と適切な連携をとることを重要と考えている。今後は入学前からの連携も必要と考える。このようなことが、退学率の低減に結びついていると考えている。		
5-30 卒業生への支援体制はあるか	【卒業生・社会人】 学校の評価は、卒業生が業界で活躍することに直結するため、まずは卒業生の卒業後動向をしっかりと管理できる体制が必要である。そのための同窓会組織を作り、年に一回同窓会総会を実施して情報収集や卒業生間の交流を図っている。	【卒業生・社会人】 就職後の状況確認を行い、奨学金返還のサポートや再就職のサポートを実施している。デビューを目指す学生・卒業生には卒業サポートとして、姉妹校と連携してデビューバンクという卒業生と業界を結びつけるためのサポートシステムを構築しており、出張編集部等のイベントにも参加できるようになっている。また企業からの作家紹介依頼があった場合は、卒業生を軸に紹介を行うなど、デビューセンターが卒業サポートを行っている。				
6 教育環境	6-31 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	【施設・設備等】 施設、設備は、業界の実情に合わせたものと、最新の機材を取り入れて、授業使用において学生に十分に用意されており、不足があれば毎年の設備計画の中で充足が計られている。また、設備点検や補修なども、サポート企業と密接に連携した上で、毎年必要に応じた整備がなされており、そのための予算の確保も長期的な計画をたてて問題なく運営されている。	【施設・設備等】 学園グループの関連企業のジケイスペース㈱は、学校施設の環境・衛生・点検・補修・改修を担う企業であり、予算を含めて単年から中・長期的な観点で学校のサポートを行っている。また同じ㈱ビスターツはPC環境メンテナンスにおいて常に学校と共に整備を行っており、学生の学習環境を支えている。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外実学研修以外にも、日常会話程度の外国語研修など考えて頂きたいです。日本のマーケットはどんどん縮小していきます。</li> <li>・教育環境や指導内容を常に更新して、時代に即した実践的な指導を行われている点に大変感心しました。今後もしっかり続けて頂ければと思います。</li> <li>・インターンシップについては前述「教育理念・目的・育成人材像」で述べた通り、学生の参加率に疑問が残る。</li> </ul>
	6-32 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか		【学外学習、インターンシップ等】 学外実習、インターンシップ、海外研修は十分な体制をひいており、また学生への案内も周知徹底し、研修後の教育効果の確認も出来ている。	【学外学習、インターンシップ等】 インターンシップは単なる学習効果だけではなく、社会人としての意識の向上につながっており、また学生本人が自身のスキルをプレゼンテーションする場となっている。また協力企業においても人材育成と人材確保の機会としてご協力をいただいております。毎年インターンシップから内定が生まれている。また、学外学習の一環として海外実学研修を行っている。アメリカ、イタリアの提携校、協力企業のもとに国際教育の一環として毎年実施している。		
	6-33 防災に対する体制は整備されているか		【防災・安全管理】 常に、災害が起こりうる事を想定して、起きた場合の対策として、訓練の実施とスタッフの体制をいっている。災害訓練だけでなく、心肺蘇生等の訓練も毎年行っている。また事故が起きた場合の保険等の処置もできている。	【防災・安全管理】 防災訓練は学内で行うだけでなく、福岡市と連携し近隣のコンベンションセンターでの実施や、警察・消防等の関係機関からの特別講習も行い、行動のみならず、心構えの面でも多くの対策を実施している。また地震等の災害の際には学生の安否を確認するインターネットシステムがあり、万一の災害に備えている。また学校には災害のための保存食が備蓄されている。		

学校法人 滋慶文化学園 福岡デザイン&テクノロジー専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【2019年5月24日実施】

2018年度自己点検自己評価(2018年4月1日～2019年3月31日)による

学校関係者評価委員氏名【 】

大項目	点検・評価項目	自己評価	点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1			適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1	
7 学生の募集と受け入れ	7-34 学生募集活動は、適正に行われているか	4	<p>【学生募集活動】 ガイダンスやWebを柱とした資料請求者獲得、DM等配布資料、オープンキャンパス、入学相談まで、コンプライアンスに配慮した適切かつ効果的な活動を実施。広報活動を、将来の職業に向けての自己発見期間と位置づけ、対象者、保護者、高校から賛同を得る。可能な限り多くの方に将来の職業発見、職業意識を持っていただくためにも、様々な機会や高校訪問の機会を用意している。また、教育成果としての就職実績やデビュー実績が明確となる資料を用意して配布・説明を行っている。 SNSなどを利用し、リアルな学園生活を伝えるツール、またイベント告知ツールとして活用</p> <p>【入学選考】 高校の学力や技能審査ではなく、目的意識を重視した面接と作文による可否の判定を行なうことで、入学前の能力ではなく、将来の職業に向けて意欲ある学生を求める内容となっている。本人の志向や資質を計りながら、入学後の授業編成にも、活かされているものとなっている。ただ学力審査の点数による可否の判断ではないので、明確な選考基準として具体的な明記ができていない。</p> <p>【学納金】 業界が求める即戦力を育成するための授業運営・学校経営に向け、最適な金額設定ではあるが、近年学費を理由とした、入学断念の傾向が見られる。各種教育ローンや奨学金を柱に様々な学費サポートプランを用意し、入学から卒業までの学費面を支える準備ができています。 また、今年より始まる「高等教育の無償化」に向けて、学園全体で取り組んでおり、入学者サポートの後押しとして活用できるよう、しっかりと申請準備を行っていく。</p>	<p>【学生募集活動】 ・HPリニューアル ・Web・ガイダンスからの資料請求者獲得 ・進路決定の早期化に対応すべく高校2年生以下へアプローチ ・校内、会場ガイダンス等、志望者との直接的な接触を重点に、そこからイベント参加者を獲得 ・高等学校からの信頼獲得(高校先生説明会、高校&amp;部活動支援、業界特別セミナー等)</p> <p>【入学選考】 ・進路選択早期化に応じ、本人の意欲を重視するAO入学を実施 ・出願者本来の目的意識を引き出すための面接を実施 ・遠方からの出願者に向け、各地方選考会・説明会を開催 ・障害者差別解消法の実践の一つとして、入学予定者の合理的配慮の対応を滋慶学園本部組織の滋慶トータルサポートセンターと連携して実施している。</p> <p>【学納金】 ・募集要項に卒業までに必要な学納金をすべて明示 ・学費サポートプランのツールを用意 ・学費ファイナンシャルプランナーを配置し、個々の状況に応じた対応 ・奨学金専門スタッフを配置し、入学前より丁寧なアプローチを実施</p>	4	<p>・在校生や卒業生が出身高校を必ず1回は訪問するということがあれば高校からの信頼度もアップすることだと思います。 ・入学選考では面接と作文、ある程度の学力テストも必要ではないか。 ・個別対応は、保護者として納得いくまで話を聞くことができ、安心して入学させることができた。 正直なところ、学費は高いと感じたが、サポートもしっかりしていて、入学前から計画を立てることができた。</p>
	7-35 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか					
	7-36 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか					
	7-37 学納金は妥当なものとなっているか					
8 財務	8-38 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	<p>【財務基盤】 財務は学校運営を行う上で重要な要素の一つである。特に予算(収支計画)は学校運営に必要不可欠なものであって、いかに予算が正確でかつ実現可能なものであるかが重要である。これについては、毎年事業計画書を作成し、5ヶ年の収支予算を立てている。 その中で入学者数、在校生数、退学者等を勘案して学費明細を作成し、収入予算の推移を把握しており、その中で入学者の減少があっても健全な学校運営ができるように安定した財務基盤が築けている。</p> <p>【予算・収支計画】 予算の編成は、中・長期収入に応じたバランスで編成しており、整合性が図られている。また執行においても、執行の規定を設け、適正な執行がなされている。今年度より導入された「予算管理システム」により、勘定項目に合わせて、予算項目・金額を振り分け、年度予定通りに、業務が遂行できるよう管理している。また、管理権限を明確に定め、予算権限者・管理者を明確にし、予算を超過できない仕組みになっており、適切なチェック体制も整っている。</p> <p>【監査】 会計監査についてであるが、監査報告書は適正な計算書類を作成している旨の意見が述べられており、適正な計算書類を作成していると考えられる。 監査を有効に実施してもらうために、証憑書類の整理、計算書類の整備、各種財務書類の整理整頓に努めている。</p> <p>【財務情報の公開】 財務情報公開については、2005年からの私立学校法の改正に基づき整備され、学校法人の財務情報公開を規定し、マニュアルに即した形で行っている。また認定を受けた職業実践専門課程の財務情報公開も適切に行っている。</p>	<p>予算を正確かつ実現可能にするために以下のような取り組みを行っている。</p> <p>①単年度の予算を綿密に作成している。 予算は、事業計画の時点で、各部署ごとの予算から、予算項目別に細かく分類し、執行に関しても全て事前に、事務局長承認と常務理事承認が必要で、金額によっては、本部承認を得る流れとなっている。また消化金額は「予算管理システム」にて、常に最新情報をチェックすることが出来、また毎月の学内チェックと、サポート企業による3ヶ月ごとの修正と評価を受けている。</p> <p>②中長期(5ヶ年)での予算計画も組まれており、特に設備造作における改装や改築などの大掛かりな支出が想定されるものは長期で計画を行っている。</p> <p>また、私立学校法上義務付けられている「監事による監査」を受けているが、それに加えて、補助金対象ではない当学校において「公認会計士による監査」も受けている。これによって適正な計算書類の作成とその信頼性の確保に努力している。</p> <p>「財務情報の公開」については、規程と「情報公開マニュアル」に則して、情報公開に対処している点の特徴として挙げることができる。</p>	4	<p>・情報公開は信頼獲得の基本だと思います。今後も継続されることを期待します。</p>
	8-39 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか					
	8-40 財務について会計監査が適正に行われているか					
	8-41 財務情報公開の体制整備はできているか					

学校法人 滋慶文化学園 福岡デザイン&テクノロジー専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【2019年5月24日実施】

2018年度自己点検自己評価(2018年4月1日～2019年3月31日)による

学校関係者評価委員氏名【 】

大項目	点検・評価項目	自己評価	点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1			適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1	
9 法令等の遵守	9-42 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	<p>法令遵守については、滋慶学園グループ全体の方針として掲げ、各校の教職員全員でその方針を理解し、実行に努めている。法人理事会のもとに、コンプライアンス委員会で学校運営が適切かどうかを判断し、また学校運営(学科運営)が適切かどうかは次の各調査等においてチェックできるようにしており、評価結果、教育情報の情報公開を行っている。</p> <p>①学校法人調査 ②自己点検・自己評価 ③学校基礎調査 ④専修学校各種学校調査 ⑤学校施設認定規則に基づく報告等 である。</p> <p>また、組織体制強化やシステム構築のために以下のようなシステムならびに組織体制の運営がなされている。</p> <p>■組織体制 ①財務情報公開体制(学校法人) ②個人情報管理体制(滋慶学園グループ) ③広告倫理委員会(滋慶学園グループ) ④進路変更委員会(滋慶学園グループ)</p> <p>■管理システム ①個人情報管理システム(滋慶学園グループ) ②建物安全管理システム(滋慶学園グループ) ③防災管理システム(滋慶学園グループ) ④機材購入棚卸システム(滋慶学園グループ) ⑤コンピューター管理システム(滋慶学園グループ)</p> <p>滋慶学園というグループカ、スケールメリットを活かし、各委員会、体制、システムを構築、稼働させることで、各学校が健全に運営できるようにしている。法令や設置基準の遵守に対する方針は明確化されており、体制作りについては完全に整備されている。</p>	<p>法令や専修学校設置基準の遵守に対する方針は、文章化し、法令や設置基準の遵守に対応する体制作りを整備している。</p> <p>教職員へは、法令や設置基準の遵守に関する教育または研修を実施し、周知徹底を図っており、今後も継続して行う。</p> <p>本校は、一般社団法人 日本プライバシー認証機構「TRUST-e」の国際規定の認証を受けている。</p> <p>また、職業実践専門課程の規定ならびに滋慶学園の情報公開規定に則り、公開していき、情報公開の方法は、ホームページへの掲載を通じて広く社会に公開できている。保護の観点から個人情報保護委員会を設置し、対策をとっている。教職員には教育と研修を通じて周知徹底できている。学内のネットワークに関しては、情報の漏洩が生じないよう、アクセス権の設定やグループ内サポート企業のみでの使用措置をとっている。</p> <p>また、インターネットの普及にともない、全スタッフ、学生、講師にITリテラシーを毎年実施。インターネットからの個人情報の漏洩、取り扱い方についてリスクマネジメントの観点より実施している。</p> <p>法令や設置基準の遵守に対する方針は明文化し、法令や設置基準の遵守に対応する体制作りは完全に整備できている。さらに、学校評価に関しては、「職業実践専門課程」の認定に際し、学校関係者評価委員会の設置がなされており、適切に評価を受け、また適切に情報公開もなされている。</p>	4	<p>・法令順守だけではなくマナーもきちんと守る学校の姿勢は生徒の育成にプラスに働くと思います。</p>
	9-43 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか					
	9-44 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか					
	9-45 自己点検・自己評価結果を公開しているか					
10 社会貢献	10-46 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4	<p>滋慶学園グループの『職業人教育を通して社会に貢献する』というミッションのもと、本校が行うあらゆる活動は常に社会に貢献することを念頭に置く。</p> <p>グループでは真の役割を果たすために、『4つの信頼』…①学生・保護者からの信頼、②高等学校からの信頼、③業界からの信頼、④地域からの信頼 を掲げるが、まさにここに挙がる各方面からの信頼を得ることが、社会貢献に直結すると考えており、運営に当たっている。</p> <p>学校の教育資源や施設から創造されるもので社会貢献を行っており、企業に対する貢献から、地域のプロジェクトを毎年行っている。</p> <p>ここで掲げる「社会」とは、グローバルな視点で捉える広義なものから、地域に密着したローカルなものまで、ありとあらゆるコミュニティを意味し、そこに広く貢献していくことが必要であると考えており、今後は「学生のボランティア活動」を「人間教育」の一環としてさらに拡充させていきたいと考える。</p>	<p>産学連携教育の一環で取り組む「企業プロジェクト」は毎年、約30社の企業からの制作依頼で取り組んでおり、一つの社会貢献・地域貢献となっている。</p> <p>2018年度実績 ・企業プロジェクト数 26プロジェクト (採用プロジェクト 13プロジェクト)</p> <p>地域・社会貢献事業の推進一例 【2018年度企業課題取組】 ・博多祇園山笠振興会公認団体讃合会「博多祇園山笠扇子デザイン」 ・CROSS FM「声優スタジアム2018 イベントポスター制作」 ・唐津市向島「せんだん茶プランディング・パッケージデザイン制作」 ・「2018年度 金鷲旗・玉竜旗高校柔剣道大会メインビジュアル制作」 ・大浜地区祭への学生ボランティア参加(似顔絵描き) ・EVO JAPAN 2019(esports大会)へのボランティア参加</p>	4	<p>・大浜地区は、山笠など伝統文化的行事が引き継がれているので、ぜひ体験してほしい。</p> <p>・企業プロジェクトはひとつの社会貢献のカタチですが、他にも地域の問題を捜して解決するようなスキームができませんか？</p> <p>・多様性を認め合い、お互いの良さを実感しながら切磋琢磨する環境はとて大切だと思います。今後も取り組みを着実に進めて頂ければと思います。</p>
	10-47 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか					